

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	PARCウィル伏見			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 29日 ～ 2025年 11月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さん、保護者に寄り添った支援ができる。成長の発達過程についての共有や、多職種による様々な視点からの支援が可能。今後もよりお子さん一人一人に沿った内容の支援を提供していく。	日々のお子さんの状態を都度、保護者に共有。モニタリングや日々のお悩みを聴取し、それに対してのアプローチを行っている。	より支援計画の内容に沿った支援を行い、支援の充実化、具体的な目標を持ったものにする。
2	療育内容の充実	多職種がいることがうちの強みであり、それにより療育の内容の充実化が図れている。保育士による療育、療法士による姿勢の評価等、看護師による身体のケアを受けながらの療育への参加が可能。	よりスタッフ全体が療育への参加意識を高め、お子さんの日々の様子を把握し、状態に合わせての参加環境を検討していく。
3	事業所からの発信について	お子さんによっては数か所事業所を利用されていることもあります。その中で事業所間での連携が必須となってくることが多くあります。PARCから支援者会議の提案等を行い、お子さんの情報共有ができるよう努めています。	今後も継続して行い、相談支援員、家族との連絡を密に取っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同じサービス間同士での繋がりが薄い。	地域全体での交流がないため、発信源がない。	全体でもお子さん同士の交流の場を考案、提供していく必要がある。
2	保護者が参加できるイベントの充実	保護者を呼んでのイベントは、夏に一度、春の卒園、卒業式のみ	大々的なイベントだけではなく、保護者同士も交流ができるような場を提供していきたい
3	災害対策訓練等の実施	開設して1年が経過し、防災訓練等を実施できている。しかし自然災害や、急変対応とさまざまなケースが考えられるため、今後はより内容のに具体性を持たせて実施していく必要がある。	近年自然災害が多いため、より緊急時の対策について考える必要がある。さらに医療的ケア児も通所されているため、万が一の緊急時対応も事前に検討が必要。